

EASNA

海の向こうへ
目指して。

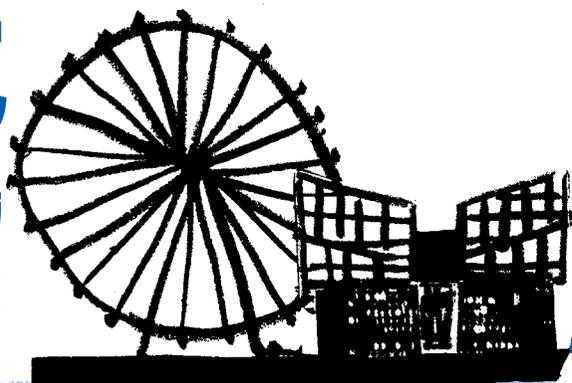
月刊島民

橋を渡る人の「街事情」マガジン

中之島

Vol.66 2014 1/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)



ナカノシマ大学

「古地図ウォーカー、大阪をゆく」

&

「すごいぞ!鉄道王国・大阪」

申し込み受付中!

海の向く方向を指して。

今回の特集は、近代を迎えた大阪が、港を中心にして発展を遂げようとした時代を取り上げる。

この時代に興った海運業や造船業は、一見、中之島とは縁遠いようにも思えるが、実はゆかりのある企業や物語が多い。「海」というキーワードを用いることで、中之島のまた新たな横顔が垣間見えてくる。

取材文／山納洋（以下本誌）江口由夏 大迫力



大正末期から昭和初期あたりの築港棧橋。停泊しているのは大阪商船の「大信丸」。写真提供／交通科学博物館

第1章 大阪の海運の夜明けと 大阪商船誕生。

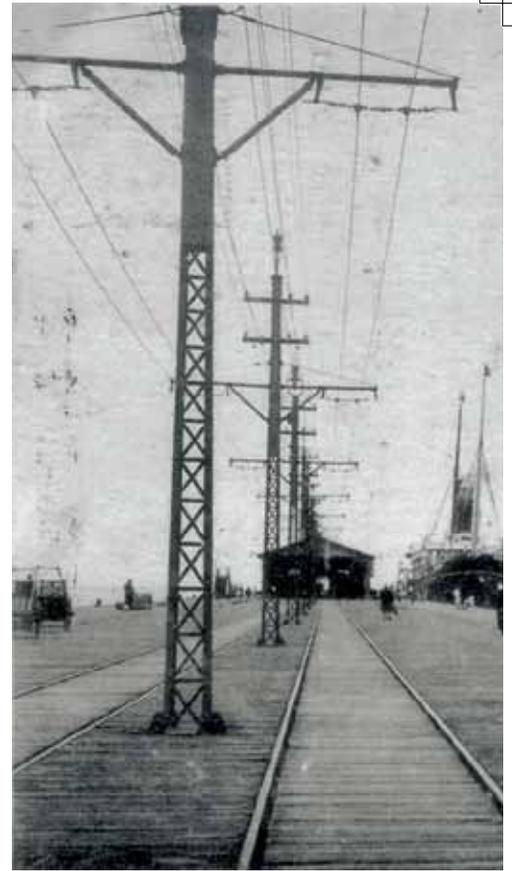
混乱と共に始まった、 大阪の海運の幕開け。

明治10年（1877）、西南戦争が勃発。鎮圧のために政府軍が動く、中間地点である大阪は、物資や兵員の集まる兵站基地（びょうたん）となった。物流を一手に引き受け、大阪や神戸の海運業はたちまち発展。国内航路を押さえていた三菱会社の船が、軍隊・軍需品輸送のための御用船として提供させられたこともあり、阪神地方では船舶不足が深刻となった。当然、船賃は値上がり、船主は大儲け。小さな汽船会社や個人船主が続々と参入することになった。ところが、競争相手が増えれば値が

下がるのも道理。目先の利益を当て込んだ、一隻の船しか持たない「一隻船主」と呼ばれる零細業者が多かったこともあり、一転、値下げ合戦が始まった。荷物や乗客の奪い合いに加え、劣悪な船が多いことから海難事故も頻発。早くも明治12年（1879）には大阪府から布達が出される事態に。しかしそれも効果はなく、複数の船主による自主的な協調機関がつくられもしたが、混沌状態はしばらく続いた。

政財界の期待を背負い、 大阪商船誕生す。

多くの船主を束ねる汽船会社（※1）の必要性が叫ばれる中、いよいよ明治



15年（1882）に大阪商船会社創立の気運が高まる。そこでリーダーシップを発揮したのは住友家初代総理人の廣瀬幸平（※2）だった。

廣瀬は老齢を理由に一度は固辞するも、「大阪の盛衰が此等群小汽船会社の興廢に係る所大なる」（『大阪商船株式會社五十年史』）と考え、引き受けた。その他、創立委員に名を連ねた面々の肩書きがすごい。堂島米紹介所肝煎（きまじり）に商法會議所理事、住友家本店支配人など、関西政財界あげての一大事業だったことがわかる。

だが、それぞれに思惑の異なる船主



創業当時、川口にあった大阪商船の本社。ポスターにも描かれた。写真提供／株式会社商船三井

たちの意見を取りまとめるのは至難の業だった。特に難航したのが船の価値評価で、結果を不服とする船主が続出した。会社の定款づくりでも創立委員と船主側が対立し、創立事務は一時頓挫したこともあった。



なんとか開業に漕ぎ着けたのは明治17年（1884）5月。しかし、廣瀬が述べた祝詞にあるとおり、この時点ではまだ「仮開業」と言う方がふさわしかった。55名の船主から出資された93隻の船のうち、500トンを超える大きなものはわずか1隻。また、3隻を除いて残りはすべて木製だった。しかも、引き渡しを受けたものの使用できない船が17隻もあった上、1〜2度の航海で使えなくなった船やこの年の内に事故に遭った船もあり、船出しはしたといえども前途は多難だった。

※1 汽船会社
船を所有し、積み荷や乗客を集め、船を運航する会社。規模が大きい方が、船と貨物の需給調整がしやすく、修理・改良にもメリットが出る。また、銀行からの融資も受けやすくなるため、多くを東ねる会社が構想された。

※2 廣瀬幸平
1828年生まれ。住友家総理人。大阪商船初代社長（当時は頭取）。11歳から別子銅山に勤め、38歳で支配人となる。明治維新の動乱期における別子銅山の存亡の危機を救った功労者としても知られる。晩年は須磨の自邸で、沖を行く大阪商船の船を眺めながら逝ったという。



「積極的方針」を貫く。 戦争に景気を左右されるも、

創業後の大阪商船は、時代の波に翻弄されながらも、必死に前へ進もうとする船を思わせる。一般的に海運業界は、船が足りなくなれば景気が良くなるし、余れば悪くなる。これを大きく左右したのが戦争による影響で、戦時

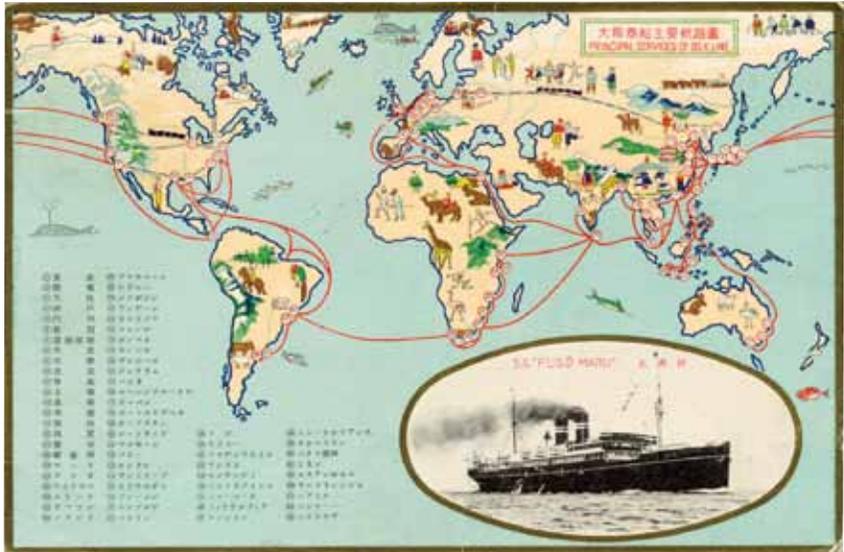
海とシマ①

創業の地は中之島の目と鼻の先。

大阪商船の創業地は、準備段階から事務所のあった北区富島町。現在の川口（西区）である。川口には外国人居留地があり、その目と鼻の先の江之子島には明治7年（1874）に初代の大府庁ができていた。当時の大阪は港を中心に西へ、つまり海の向こうへ開いていくことによって発展を目指しており、川口や江之子島は政治や文化の中心になるべきと見込まれていたのだ。

まさに海の向こうを目指す大阪商船もまたここで創業した。「海運の中心地点たる安治川波止場に接し、頗る地の利を締めた場所」というのがその理由だが、そこは新しい時代を期待する熱気漂う場所でもあったのである。





昭和5年頃の大阪商船の主要航路を描いた地図。全世界に延びていることがわかる。写真提供／交通科学博物館

において人や物資の移動が増えれば業績は上向き、反対に戦争が終われば下降する。日清戦争（1894年）、日露戦争（1904年）、第一次世界大戦（1914年）と立て続けに勃発した戦争の狭間で、大阪商船の経営は好況と不況を行ったり来たりした。

そんな中でも、大阪商船は一貫して「積極的方針」を続けた。開業当時は

世界を驚かせた高性能船。

また、大正9年（1920）にシンガポールーニューヨーク航路を開始した大阪商船だったが、イギリスやアメリカ、ノルウェーの船と比べて性能は大きく劣り、運賃率の低い荷物しか集

大阪商船の経営方針がどんなものだったかわかるだろう。

内航主義、すなわち国内の港を結ぶ航路に徹していたが、明治23年（1890）の大阪ー釜山線を皮切りに、立て続けに近海航路へ進出。中国各地や台湾などを結んでいった。

そして明治42年（1909）には大阪商船初の遠洋航路である香港ータコマ線を開始する。これは、後にムンバイ・南米・ヨーロッパなど、遠洋航路が発展する基礎となった。

この頃が日露戦争後の大不況であることを考えれば、

まらず、船を出す度に大きな赤字を出していた。

そこで大阪商船は高速ディーゼル船を建造する計画を打ち出し、昭和5年（1930）にニューヨーク急航線を開始する。横浜ーニューヨーク間で、他国の船が35日かかっていたところをわずか25日17時間半に短縮した。その第一船である「畿内丸」がニューヨーク港に到着すると、その船型から「日本はまるで鉛筆の芯のように尖った船を持つてきた」と評判になったそうだ。これも昭和恐慌のさなかに社運を賭け



ニューヨーク港に到着した畿内丸。速さと共に船型にも注目が集まった。写真提供／株式会社商船三井

海とシマ②

ダイビルは「豪華客船」なのか？

ダイビルの外観はよく「豪華客船」に例えられる。設計を手がけた渡邊節は、施主の親会社が大阪商船であることを意識していたのだろうか？ 建築史家の安達英俊氏によれば、それを示す資料や発言などは見当たらないようだ。

ただ、安達氏はこうも語る。「設計を手がける直前、渡邊は1,000人も乗客を乗せた客船で洋行しています。後年、その体験がいかに新鮮だったかを回想しているように、渡邊にとっては学ぶところが多かったようです」。海運を担う会社のビルにふさわしい建築を思い描く若き建築家の頭の片隅に、その時の記憶がふと甦り…というのはちょっと出来過ぎだろうか。



昭和初期に発行された「ぶえのすあいえす丸」乗船記念の絵葉書には、竣工したばかりのダイビルが。写真提供／交通科学博物館



日本人と結婚し、生涯を日本に捧げたハンター。旧宅は神戸の王子動物園内に残る。

英国人実業家が目を付けた、船を造るという仕事。

海運業界が混乱からなんとか抜け出そうと模索していた明治初期、造船業界もまた苦戦を強いられていた。西南戦争での景気に乗じて創立した多くの小規模造船所でも競争が絶えなかったのだ。しかし、大阪商船が創立され、海運業界の混乱が一定の収束を見たこ

第二章 海運業と共に歩んだ大阪鉄工所の道のり。

て行われた「乾坤一擲」の計画であり、今なら「攻めの経営」と呼ばれそうな姿勢で、日本の海運界をリードした。さて、大正12年（1923）に大阪商船は、宇治川電気、日本電力と共に株式会社大阪ビルヂングを設立し、貸室兼業の本社ビルを建設することになっ

た。これがダイビルである。2〜3階に大阪商船の本社が入り、この後に登場する大阪鉄工所など多くの企業が入居する当時最新のオフィスビルだった。中之島について社史では「大阪市内目抜き地の地たる中之島」と表現している。最近人々の注目が高まっている場

所といったような意味だろうか。後にも続く大阪商船と中之島とのご縁は、ここから始まっていった。

◆ 大阪商船はその後、三井物産の船舶部が分社化された三井船舶と合併し、大阪商船三井船舶となる（1964

とで、造船業は日本を担っていく産業として発展する命運を得た。

この業界の未来を予見した一人に、E・H・ハンターという英国人実業家があった。彼こそが現在の日立造船の前身となった大阪鉄工所の創業者である。

創業当時の大阪鉄工所を描いた版画。兩岸を川に囲まれた半島地は、水運の便がとてよ良かった。



慶応3年（1868）、安政5カ国条約による大阪開市と同じくして設置された川口居留地へ、アジアで貿易商を営んでいたハンターはやって来た。イギリスで同郷だった商人仲間のキルビーが、機械類や雑貨の輸入を扱う商會を開くことになったからだ。彼らは日本の真ん中に位置する大阪や神戸

年）。さらにナビックスラインと合併し商船三井となつて（1999年）、世界的にその名を知られている。

その大阪支店は今も中之島ダイビルに入る。日本を代表する老舗企業のルーツが、中之島にゆかりがあることは、島民としては誇らしいところである。

の将来性を見抜き、いずれ貿易の重要拠点になると考えていた。

ハンターは繁盛するキルビー商會に勤めるかたわら、同じくキルビーが経営する造船所の仕事にも携わる。これが造船との出会いだった。すでにハンター商會として独立し、西南戦争の軍需物資取り扱いで築いた資産は充分にあった。一念発起した末、キルビーの造船所から離れた安治川沿いにて大阪鉄工所を興すこととなった。

「大阪一の造船所」へと成長。

明治14年（1881）に開業した大阪鉄工所は、民間造船所としては珍しい外国製の最新設備を揃え、同業者たちを驚かせた。ハンターは、風の力で進む帆走船は遠からず汽船（※3）に代わると予想。新しい機関の製造が不可欠と考えて開発を始め、大阪の企業から次々と蒸気機関やボイラーの製造を受注した。

明治17年（1884）に政府が西洋

型船舶製造の奨励や保護令を出す、大阪鉄工所には大規模修繕が必要な船舶が集まるようになり、しばしの繁忙期が訪れることに。また、大阪商船からも創立時から多くの建造や修繕を受注している。

当時は珍しかった鋼船の建造や、イギリスからの輸入に頼っていた蒸気機関の工作を成功させるなど、大阪鉄工所は確かな工業技術で信頼を得ていた。明治末期には長崎の三菱造船、神戸の川崎造船と共に名を轟かせ、大阪一の造船所として注目を浴びるまでになった。

※3 汽船
蒸気機関を動力として進む船のこと。現在はディーゼルエンジンなど、機械を動力とする船全般を指して使われることもある。

異分野にも積極進出。 中之島との縁も深い。

大規模な事業拡張を迎えたのは、第一次世界大戦中の大正4年（1915）。ヨーロッパの大戦乱によって世界的な船舶不足が起こり、空前絶後の造船ブームが到来した。勢いに乗って創業初期から桜島にあった本工場を始め、西日本に置いた5つの工場を拡張だがその反面、この好況に永続性は見られないという冷静な判断も下している。建造期間が長引くうちに景気が悪化して契約を打ち切られてしまわないよう、受注した船舶の納期は少しでも



大正7年（1918）、渡辺橋北詰にあった本社。その7年後、ダイビルへ移転した。

大阪鉄工所の先見の明と言うほかない。ちなみに、この時、中之島に架かる橋の施工も多く手がけたことは、島民としては注目したい。

◆ その後、昭和11年（1936）に日立製作所の傘下に入り、昭和18年（1943）に「日立造船」と改称。

早めたという。また、副業として手を広げていた陸上工事の業績が、戦後恐慌による反動を緩和。特に昭和初頭に訪れた橋梁部門の最盛期は、全工事受注高の45%を占めるほど重要だった。「橋の鉄骨製作は造船の副業にふさわしい」と、早くも明治末期に橋梁部門を発足させた

戦後に傘下を離れ、2002年に造船部門を切り離した後は、廃棄物からエネルギーを生成するごみ焼却システムや、風力や太陽光・太陽熱を用いた発電など、地球環境にやさしいシステムの開発にも積極的に取り組んでいる。大阪発祥の造船所仕込みの技術力は、陸に上がってもなお健在なのだ。

左は渡辺橋の古いネームプレート。昭和41年（1966）に架け替えられた現在の渡辺橋も、大阪鉄工所が施工した。



海とシマ③

中之島のランドマークを次々と。

大正時代に大阪市で始まった第一次都市計画。その事業に伴って架け替えられた橋の8割は、大阪鉄工所の施工だった。大正15年（1926）完成の肥後橋、昭和2年（1927）完成の渡辺橋や堂島大橋は、いずれも意匠をこらしたアーチの美しさがもてはやされた。昭和4年（1929）には河川浄化のための堂島川可動堰を手がけた。現在は水晶橋の名前で知られる。地下鉄開発や高潮対策のために架け替えられた橋も多いが、堂島大橋や水晶橋は以前の姿で残っており、大阪鉄工所の技術力を今に伝えている。



ハカセ／大倉 宏さん
大阪市立科学館の学芸員。専門は物理学。子ども向けのサイエンスショーではブーメランを使った企画を行うなど、人呼んで「ブーメランのヒロシ」。その他、アスリートがなぜ速く走れるのかといった研究も。



生徒／田上 亜友くん
大阪市内に住む小学3年生。好きな科目は算数とのこと。今さら聞けない大人の島民たちに代わって、船が水に浮く仕組みを聞いてくれた。

水には「浮かせる力」がある

ハカセ 水を入れた風船を持ち上げて、手を離れたらどうなるでしょう？

生徒 落ちる。

ハカセ そう、地球が引っ張っている、つまり重力が働くからです。では、水槽の中に風船を入れたら浮きますか？沈みますか？

生徒 沈まないと思う。

ハカセ そうですね。水面から出ることはないが、底に沈むこともない。でも、もし水がなければ水槽の底に着いている。では、重力は消えたのでしょうか？

生徒 消えてない。

ハカセ うん、風船が落ちないように何かが支えている。それが「浮力」です。

浮力と水圧

ハカセ では、空き缶にフタをして海に放り込んだらどうなるでしょう。

生徒 浮きます。

ハカセ では、浮かないようにオモリをくりつけて水に入れたら、どんどん沈んでいきます。もし、とても深い海だったら、空き缶はどうなりますか？

生徒 う〜んと、ゆがむ？？

ハカセ そう、潰れてしまう。周りの水圧が押しつぶすんだね。ただし、海に入れたばかりでは潰れない。ということは水圧は下へ行くほど？

生徒 強くなる？

ハカセ そう、水圧は下に行けばいくほど大きくなるんだ。さっきの風船を思い

出して見よう。風船は周りの水から水圧を受ける。上からはのしかかれ、下からは持ち上げられる。その力は、下からの方がほんのちょっと強いんだ。

生徒 へええ。

ハカセ 結局、風船は周りの水から上向きの力を受けることになる。この大きさと、さっきの重力とならどっちが大きいかな？

船をよく見る島民だから知っておきたい

今回の特集の主役は、海を渡る大きな船。ところで、どうして鉄製の巨大な船が水に浮くのか、ギモンに思った人は少なくないのでは？ 素朴すぎる質問に、大阪市立科学館の専門家がお答え。
取材・文／大迫 力(本誌)

「どうして船は水に浮くんですか？」



生徒 浮くはず。

ハカセ その通り！ 亜友くんは、プールより海の方が体が浮きやすいのを知っているよね。物体に働く浮力の大きさは、その物体が押しつけた液体の重さと同じだったよね。水と塩水はどちらが重いだろう？

生徒 塩水。

ハカセ そう。だから浮力の大きくなる海は、プールより体が浮きやすいんだね。

生徒 同じ大きさかな。

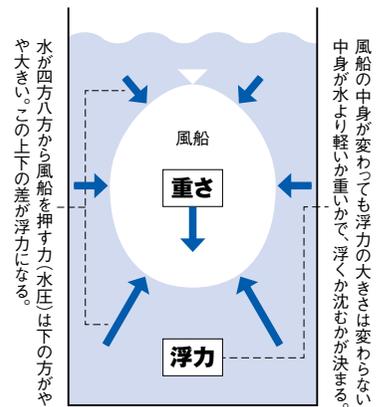
ハカセ そう、釣り合っているんだね。風船が水中のどこにあっても、ゴムの重さが無視できれば大きさはいつも同じだ。この周りの水から受ける上向きの力を「浮力」と言う。浮力は、その物体が押しつけた水の重さとちょうど同じだけの大きさを持つんだよ。

船にはたらく浮力

ハカセ ところで、この風船には水が入っていたけれど、中に石を入れたら浮力はどうなるだろう？ ただし、風船の大きさは変わらないとする。

生徒 変わらない？

ハカセ そう、浮力は変わらない。上向





昭和31年(1956)の本工場の様子。左手に見えるのが名村造船所。奇しくも両社は創業年が同じ。

第三章

明治の造船ベンチャー！ 佐野安がたどった道。

身一つで造船会社を興した男。

海運業や造船業が日本の一大産業へと発展しようとする中、その時流に乗ろうとして一本独鉦で造船業を興そうとしたベンチャーたちの姿があった。現在、中之島タイピルに居を構えるサノヤスホールディングスの創業者・佐野川谷安太郎もその一人である。

明治19年(1886)に佐野村(現在の泉佐野市)で生まれ、小学校卒業後に大阪に出て、木津川筋で船大工の棟梁の内弟子として修業した。界隈は江戸時代から廻船が頻繁に出入りし、木造船を中心とした造船業が盛んな場所だった。その後、安太郎は大工道具を携え東京から樺太まで各地の造船所で働き、船大工としての技術を磨いた。そして明治44年(1911)、木津川



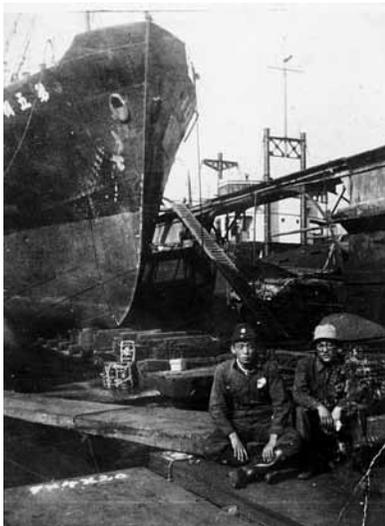
進水式の際には記念絵葉書などが作られるのが造船界の通例。船の発注者や船舶ゆかりの地が絵柄に選ばれ、サノヤス=大阪ということで中之島の名所もよく選ばれた。

海とシマ④

北新地に最古の造船所の名残。

堂島にはかつて30もの船大工小屋がひしめき合う一帯があった。中之島に葺屋敷があった江戸時代、物資を搬入する多くの船が川を往来。その船の建造や修繕で活躍したのが、堂島川沿いの船大工たちだった。しかし開国後、外海を目指す大型船が必要になると、船大工たちにも近代造船技術が求められた。殻をまず破ったのは、元禄2年(1689)に創業した「兵庫屋」。ドイツから技術者を招き、洋式木造汽船を完成させたことから、日本最古の民間造船所とも呼ばれる。「藤永田造船所」と名を改めた後も海軍艦艇建造の西の顔として名を馳せた。北新地に今も通称として残る「堂島船大工通り」はその名残と言える。





昭和12年(1938)に完成した貨物船「第五桐丸」と担当工員の記念写真。小さな造船所らしいと言える1枚か。

町(現・浪速区)に戻り、24歳の若さ
で佐野安造船所を設立している。

しかし、資金も設備も乏しい個人事業
である佐野安に当初船舶建造の仕事
は来ず、安太郎はあちこちの造船所の
手伝いをしながら雌伏の時を過ごした。
事業が軌道に乗ったのは、大正3年(1
914)に勃発した第一次大戦以降の
こと。さらに大正10年(1921)、
鋼船建造に乗り出す。木造船では他に
負けない経験と自信を持つ安太郎も鋼
船の経験は十分でなく、修業時代さな
がらに必死の取り組みであった。

この時期、同じような民間造船所は
他にもあった。堂島の船小屋出身の藤
永田造船所に、名村源之助が独力で起
こした名村造船所。これらは同じ木津
川沿いにあったことから「川筋三社」
と呼ばれた。今東光の小説『悪名』に、
船大工から鮮やかに転身した安太郎を
羨むくだりが出てくるように、造船業

には当時の青年たちの夢をかき立てる
魅力があったのだろう。

住吉大社の太鼓橋を修復。 多角化へと乗り出す。

太平洋戦争後、造船業は驚異的な回
復を遂げ、佐野安でも大型船の受注を
伸ばしていた。そんな中、進水式前夜
には必ず住吉大社に向き、成功を祈
願していた安太郎は、昭和30年(19
55)、大社の太鼓橋の修復を願ひ出
ている。かつては船大工の奉仕で維持
されていたこの橋は、豊臣時代以来の
石造の橋柱や梁などを残しつつ、全溶
接の鋼鉄の橋として生まれ変わった。

この数年後、佐野安は本格的に橋梁
部門への進出を果たす。昭和36年(1
961)に初代社長が亡くなるまでは
造船専門の道を歩み続けた佐野安だっ
たが、二代目社長就任とともに鉄鋼構
造物・水門・橋梁などを手がける陸機
部門を発足している。

佐野安の歩みに見る 日本のものづくり。

これには背景がある。川幅
200mほどの木津川の河口
部では4万トン級の船を進水
させるのが限界であり、それ
以上のスケールの船が主流と
なった段階で、大阪の造船所
は新船製造の役割を終えてい



昨年12月に操業開始した、オーストラリアのメルボルン市でサ
ノヤスグループが運営する南半球最大の観覧車。

た。好況をもたらした船舶の大型化が、
皮肉にも木津川筋の造船業の衰退を招
いたのだ。

佐野安は昭和49年(1974)、岡
山県水島に新造船所を稼働させ、大阪
は修繕工場として残されることになっ
た。この頃以降、日本の造船業は円の
変動相場制への移行、オイルショック
により不況の時代を迎える。佐野安の
みならず、造船会社の多くは多角化に
よる経営安定化を目指さざるを得なく
なっていた。ちなみに、名村は昭和54
年(1979)に主要工場を佐賀県伊
万里市に移し、藤永田は三井造船に吸
収合併されている。

佐野安の住友銀行出身の3代目・太
田黒社長は、さらに立体駐車場部門へ
の進出を果たし、平成2年(1990)
には工事用エレベーターの製造会社と、
翌年には遊園地機械設備を手掛ける会

社と合併し、多角化へさらに大きく舵
を切った。

佐野安の歴史は、日本のものづくり
のひとつの縮図とも言える。「まごこ
るこめて生きた船を造る」は、初代の
安太郎が常々口にしてきた言葉である。
世に役立つ良い製品を送り出さんとす
る職人魂と次々新たな分野に挑むチャ
レンジ精神は、これからどんな道をた
どるのだろうか。

今回取り上げた企業は、いずれも川
口や安治川沿いを創業地や工場用地と
している。記事の中でも触れたが、明
治維新直後の大阪には港から西へ向か
って発展しようとする気運があった。
そう考えると、中之島の位置するこ
ころも今とはまた違って見えてこない
か。キタとミナミの真ん中というのが
現代の捉え方だが、それは南北の移動
がメインとなっているからだろう。

しかし、かつてのフロンティアだっ
た川口も江之子島も、中之島からは目
と鼻の先。中之島に本社を移した大阪
商船や大阪鉄工所の人たちにとっては、
工場のある場所との物理的な近さと共
に、精神的な距離の近さも感じていた
のではないだろうか。海に向こうを見
据え、東西の軸線を考える時、中之島
と海との意外な「近さ」が意識される
のである。

ナカノシマニア

取材文／大越裕

中之島で日々、忙しくビジネスに邁進している読者諸兄諸姉なら

ば「スマートコミュニティ」という言葉を目にしたことがきつとあるだろう。「そんなん知らんわ」って？

それでは簡単に説明しよう。

スマートコミュニティとは、「次世代送配電網（スマートグリッド）」と呼ばれる新しい電力制御技術とITを組み合わせて、ある地域のエネルギー全体を効率的に運用しようとする考え方のことをいう。電力や都市ガスだけでなく、これまではあまり使われていなかった下水道の熱などの「未利用エネルギー」や太陽光や河川水のような「再生可能エネルギー」まで有効活用した上で、地域の交通システムから市民の生活まで、総合的に省エネ・低環境負荷の社会を実現するという概念だ。なんだかずいぶん難しい話だなと思っただ方もいるかもしれないが、ひとまず「スマートコミュニティが実現できたら、暮らしが便利になって、なおかつ地球にやさしい」ぐらいのご理解をいただければ十分です。

さて、その「スマートコミュニティ」を、近い将来、中之島でも実現できないかという計画が検討されているのをご存じだろうか。近年、急ピッチで進

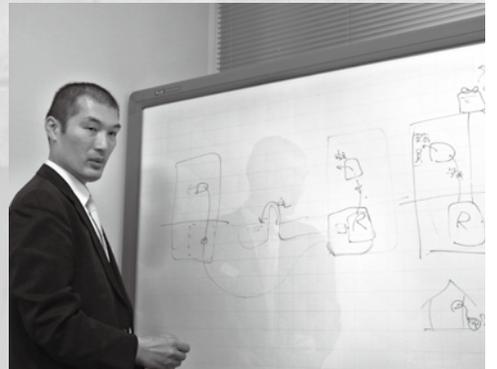
む中之島の再開発だが、西部の4〜5丁目はまだまだこれからといった状態。上空から見た同エリアには駐車場や空き地が目立つ。大阪市の計画では4丁目に新しい美術館を整備する構想があり、5丁目にはロイヤルホテルの建て替え計画などがあるが、まだ具体的に

「スマートコミュニティ」 実現のための 構想が進んでいる。

動き出すには至っていない。

そこで、開発を進めるための「アークセル」の一つとして、スマートコミュニティ構想に期待が寄せられているのだ。主体となっているのは、地権者の集まりである中之島まちみらい協議会と関西電力の関連会社、関電エネルギー開発だ。

「スマートコミュニティは、国が21世紀の都市開発の目玉として打ち出し



地域冷暖房のシステムや、スマートコミュニティ構想について説明してくださった、関電エネルギー開発の三島さん。何度も基本的な質問をしてみません…。

た構想です。今年度、その実現に向けた検討事業に対して経済産業省から補助金が下りることになりました。そこで、わたしたちと関電エネルギー開

発も申請を出して、目下検討を行っている最中なんです」と中之島まちみらい協議会の植栗健さんは話す。

その検討とはどのようなものなのでしょう。中之島におけるスマートコミュニティ実現の中核となるの

が、島の南北を流れる堂島川と土佐堀川を利用した「河川水利用地域冷暖房システム」である。

通常のエアコンは、外気を取り込んで冷気や熱をつくり、部屋の中の温度を汲み出して、室外機を通じて外に捨てる。つまり、室内と外気の気温差が大きくなると、冷やしたり暖めたりするのに大きなエネルギーが必要になる。中之島の地域冷暖房は、外気の代わ

りに川の水を使うというものだ。川の水というのは年間を通して外気に比べて温度変化が少なく、冬は外の空気より暖かくて、夏は冷たい。そのため効率がよく熱や冷気を生み出せるのだ。

「簡単にその原理を言えば、みなさんの家にもあるエアコンの室外機を、川の中にぽちんと沈めたようなものと考えてもらって間違いありません。一方の川から水を取り込み、暖めたり冷やしたりするのに使った後はもう一方の川へと排水します。温度条件が良いことに加え、空気よりも水の方が熱が伝わる効率がいいこともあって、14〜16%の省エネが見込めるんですね」と関電エネルギー開発の三島憲明さんが教えてくれた。

また、ふつうの家やマンションでは「1部屋に1台のエアコン」が設置されているが、スマートシティの地域冷暖房システムでは、言ってみれば巨大なエアコンがつくり出した熱（冷気）を、パイプラインの水を通じて各施設に送るのが特徴だ。

「それに加えて下水道の熱も再利用できるのではないかと考えています。下水というのは、夏には水道水を使った後でも外気よりも冷たいときがあり、冬にはお風呂や厨房で使われた外気よりも温かい水がそのまま流れてきますから、実は熱源としてとても利用価値が高いんですね。検討では、下水を処



田菱橋のすぐ下に、地域冷暖房用の取水口の一つが見える。中之島では、すでに6棟が導入。3月7日に開業するホテルでも導入されている。

理施設に集めて、その熱を回収して各施設に送ろうと考えています」

ス

スマートコミュニティの推進にあたって、経済産業省からは「デマンドレスポンスの検討」も義務づけられている。また聞きなれない言葉が出てきたが、「デマンドレスポンス」とは「電力等の需要（＝デマンド）に応じて何かのアクションをぶつけることで、こちらが狙った反応（＝レスポンス）を引き出すこと」を言う。例えば電力などが足りなくなりそうな時間帯に料金を高くしたり、自発的な行動を促すインセンティブを設定したりして、エネルギーを使う量を減らす仕組みである。

今回、中之島では企業のオフィスなどの設備でこの仕組みをつくれないかを検討しているが、すでに住宅分野では京阪奈地区で経産省や京都府、関西電力などが実証実験を行っている。このような方法でオフィスの多い中之島全体のエネルギー使用量のピークを減らす仕組みを構築することも、スマートコミュニティを実現する上では大切なことなのだという。

「本年度中には、検討の結果を経産省に報告する予定になっています。こうした活動を通して、これから中之島の開発にあたりとうとしている地権者のみなさんに、スマートコミュニティが実現できる可能性があることをアピー

ルできれば、「ここでビルを建てれば、省エネになるんやな」と前向きに検討してくれるかもしれない。そうならば「何よりです」と植栗さんと三島さん。

2013年に策定された「中之島まちづくり構想」によれば、4・5丁目エリアは「国際化」と「文化」をキーワードに開発が進められるという。大阪市による新しい美術館構想などのまちづくりが進んでいる中、スマートコミュニティが一つのきっかけとなって、大学のキャンパスやコンサートホールなどの開発に結び付けば、中之島エリアがさらに盛り上がるのではという壮大な夢のある話。地権者のみなさん、いかがだろうか？

ナカノシマ大学neo 始まる!

「今どき映画人養成カフェ」

scene#01

あなたが「映画を撮りたい!」と
思った時に必要なこと。

講師 / 映画『月夜釜合戦』製作委員会

現在進行形で映画作りに関わる面々が、
「ぜひ」映画の作り方を教えます。

2009年10月から毎月開催しているナカノシマ大学の
新企画。その名も「ナカノシマ大学neo」。歴史や
文化など、今まではちょっとカたいテーマが多かった
が、ここではもっと実践的で、講師と生徒との距離が
近いカフェのような講座を目指す。

そのテーマとなるのは映画。それも、現在進行形で
映画を撮影中の人たちに、その作り方を教わろうとい
うものだ。大阪の街を舞台に映画『月夜釜合戦』を撮
影しているみなさんの協力のもと、1本の映画の作り
方を根ほり葉ほり学ぶ。第1回目はまず基礎の基礎を
お勉強。なぜシネコンが増えたのか、邦画と洋画の人
気の違い、映画にまつわるお金の流れなど、業界の現
状を押さえておこう。また、デジタルとフィルムの画
質の違いなど、実際に映画を撮るまでに知っておくべ
きことをレクチャーする。

素晴らしい映画を観る。感動する。と同時に自分
でもある世界観を描きたいと思ってみたりしちゃう夜も
ある。そんな眠れぬ、獅子たちよ、集まれ!



はい、よーい
スタート!



「今どき映画人養成カフェ」

日時 / 2014年2月20日(木)

7:00PM~8:30PM

会場 / 大阪府立江之子島文化芸術創造センター/enoco

受講料 / 1,000円

定員 / 40名

主催 / 映画『月夜釜合戦』製作委員会

協力 / ナカノシマ大学 シネ・ヌーヴォ

◎参加は予約優先制です。

参加ご希望の方はnakanoshima.univ.neo@gmail.comまで、氏名・
人数・連絡先をお送りください。予約無しでも、空席があれば当日参加
も可能です。なお、受講票の発送は致しません。
問い合わせ / ☎06-6582-1416
(シネ・ヌーヴォ / 担当山崎 12:00PM~8:00PM 元日を除く)



映画『月夜釜合戦』とは?

泥棒を生業とする主人公・今田は、石川五
右衛門の供養として釜ヶ崎中の釜を盗むこと
を決意する。だがそのうちに釜が高値で売れる
という噂が広まり、釜の奪い合いが社会現象
に。満月の晩に釜ヶ崎で一番大きな釜を盗み
出すのは誰か? 古典落語「釜泥(釜泥棒)」
から発想を得た人情喜劇。現在、絶賛撮影
中! <http://kamadoro.com/>

うまさぎっしり新潟



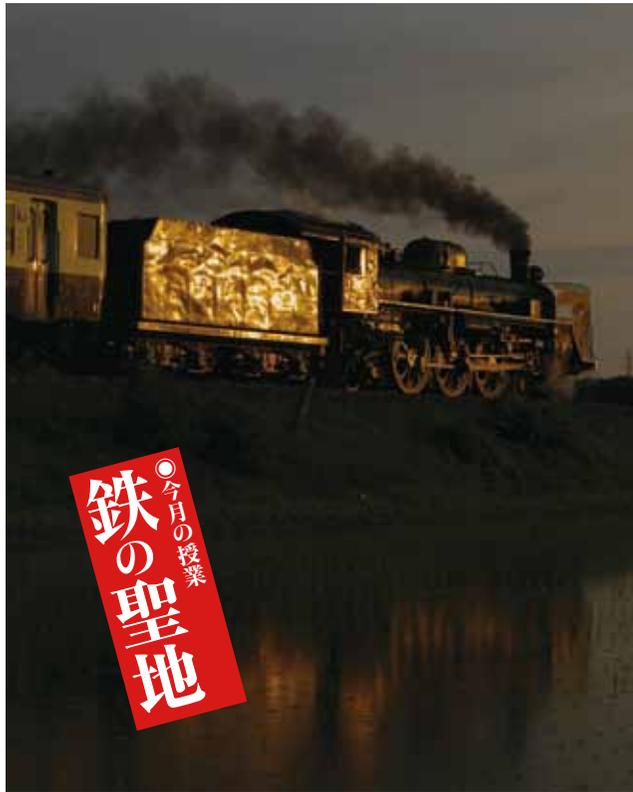
関西人のための

「新潟のええとこ・うまいもん・ゼミナール」
今月は抽選にさせていただきます！

第4回「乗っても撮っても鉄の楽園・新潟」講師／桂梅團治

鉄道好きにとつて
新潟は「楽園」であった!?

いよいよ佳境に入ります「新潟ゼミ」
第4回は、チケットがあつと言う間に売り切れる「鉄道落語」で上方落語の新たな境地を切り開いた桂梅團治師匠です。
北アルプス、妙高、谷川連峰、飯豊山など標高2千メートルを超える山々、信濃川、阿賀野川などの大河、雄大な日本海、そして日本有数の水田。猛暑と豪雪。これほど日本の自然と四季が鮮やかな表情を見せる土地もめつたにありません。
そんな場所を蒸気機関車が、あの特急あの車両が走ればどうなるか？ それは撮り鉄・乗り鉄両方にとって心躍るシーンに違いないはず。今回は桂梅團治師匠が「撮り」のエキスパートとして、新潟至福の撮影スポットやその周辺のお楽しみどころをたっぷりご紹介するのみならず、師匠の口から「新幹線通すだけじゃダメ。こうすれば新潟に全国から放つておいても鉄道ファンがワンサカ集まる」秘策をご提案いたします。お楽しみに！
さて新潟ゼミ、予約争奪戦が半端でなくなつてしまいました。今回は「抽選制」にさせていただきます。締切は1月10日（金）必着でよろしく願いたします。



◎今月の授業
鉄の聖地



かつら・うめだんじ
1957年岡山県生まれ。80年に桂春團治に入門し、82年、桂春秋（はるあき）として初高座。1997年、道頓堀中座にて桂梅團治を襲名。天満天神繁昌亭をはじめ全国各地で公演。新潟では新潟市・上越市・糸魚川市・十日町市を中心に上方落語定例会を開催している。2013年2月に東西の落語家3人と共著で「鉄道落語」（交通新聞社新書）を上梓。

阿賀野川の支流・早出川にかかる磐越西線「五泉の鉄橋」の周辺では夕日がSLの車体をオレンジ色に染める。高座の合間にこんな写真を撮ってしまう師匠の集中力に脱帽！（2012年5月13日）
◎桂梅團治

いよいよファイナル!

第5回 2014.2.26(水)
葉石かおり(唄き酒師)
※会場は未定



◎第4回の会場は
梅田・富国生命ビル4Fの多目的スペース「アサヒ ラボ・ガーデン」。
イベント時以外は飲食可で、お弁当タイムの女子社員や就活に励む学生くん、授乳室利用のママも立ち寄っています。新潟ゼミで来場されたお客さんも常連になつておられます。
11:00AM～8:00PM 日曜休
<http://www.asahigroup-holdings.com/research/labgarden/>

「乗っても撮っても鉄の楽園・新潟」

日時／2014年1月29日(水)
6:30PM～8:00PM(開場6:00PM)
会場／アサヒ ラボ・ガーデン(大阪富国生命ビル4F)
受講料／無料(新潟県のお土産付き) 定員／50名
主催／新潟のええとこ・うまいもんゼミナール事務局
後援／公益社団法人新潟県観光協会
協力／アサヒ ラボ・ガーデン、関西食ビジネス研究会

お名前・ご住所・電話番号を明記のうえ、下記までハガキ、ファックス、もしくはナカノシマ大学HP内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ、ファックスについては、複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。ハガキ、ファックスでお申し込みの方は、講座名を必ずお書き添えください。〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階「関西にいがたゼミ」受付係 FAX.06-4799-1341 (☎06-4799-1340) ※締切=1月10日(金)必着。応募者多数の場合は抽選とします。受講料は当選した方のみ、1月20日(月)までに発送します。



2014年2月講座

「すごいぞ!
鉄道王国・大阪(私鉄編⑤)」

講師／黒田一樹(中小企業診断士・鉄道愛好家)

鉄道王国・大阪を語るシリーズの最終回。
島民の足、京阪電車がいよいよ登場!

速さや快適性を競い、「鉄道王国」の異名を取る大阪の私鉄各社。独自の視点に基づくキーワードでその個性を読み解く人気シリーズの、大トリを飾るのは、もちろん我らが京阪電車だ。

そのキーワードは「名匠」。島民の足である中之島線の開業から6年目、旧3000系特急車の引退フィーバーからは約1年。全車新塗装に統一され、確かに京阪電車は変わりゆく。だが、進取の気象に富み、数々のハンデを克服する過程において、さまざまな世界初・日本初・関西初の金字塔を打ち立ててきた歴史の厚みはすごい。そんな中にも、どこかちょっと愛嬌のある「技術の京阪」の息遣いは、今も後継車両や駅のそこかしこに宿っているはずだ。

京阪電車に乗る毎日が、もっと楽しくなる90分。さあお立ち会い。グランドフィナーレを見逃すな!

くろだいつき 東京在住の中小企業診断士だが、京阪電車80形を保存するなど無茶な発想と行動を愛する鉄道道楽者。月刊島民の鉄道記事と言えば、この人をおいて他にはいない。

◎今月の授業①

【鉄道】



ついに私鉄編の最終回!

募集要項	<p>「すごいぞ! 鉄道王国・大阪(私鉄編⑤)」</p> <p>日時／2014年2月12日(水)</p> <p>7:00PM～8:30PM頃(開場6:30PM～)</p> <p>会場／大阪市中央公会堂 小集会室</p> <p>受講料／2,000円</p> <p>定員／90名</p> <p>主催／ナカノシマ大学事務局</p> <p>協力／関西・大阪21世紀協会</p>	<p>お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ、ファックスについては、複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。ハガキ、ファックスでお申し込みの方は、講座名を必ずお書き添え下さい。</p> <p>〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階 「ナカノシマ大学2月講座①」受付係 FAX.06-4799-1341</p> <p>※先着順で受付を確認し次第、順次、受講票をお送りします。 ※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。</p>
------	--	---



古地図と今の街を
比べて歩く



今月の1枚
「大坂明細地図」
明治29年発行のこの地図は、江戸時代の絵師の筆と近代的な測量技術の合作の趣がある。天満に目をやれば、秀吉時代に生まれた堀川が中心を流れ、北の端を鉄道が走る。変貌の名残は、地図を片手に平成の街を歩けば、しみじみ実感できる。
(大阪市立中央図書館蔵)

◎今月の授業②

2014年2月講座

【古地図】

「古地図ウォーカー、大阪をゆく」

第4回「天満」と「天神」の謎。

講師／本渡 章(作家)

「天満」と言えば、どこを思い出す？
天神さんと川に囲まれた街の昔と今を歩く。

『大阪古地図パラダイス』が好評発売中の中の本渡章さんによるシリーズ講座。古地図に描かれた大阪の街と見比べながら歩くと、現代の街の様子はどのように映るだろうか。今回のウォーキングの舞台となるのは「天満」だ。

ところで、天満という地名を聞いて、あなたは大阪のどのあたりを思い出すだろうか？ 現在の住所表記に従えば、大阪天満宮の南東あたりになる。しかし、JR大阪環状線の天満駅や、あるいは京阪電車の駅がある天満橋を思い出す人も

いるのでは。こんなややこしいことになったのは、江戸時代以来の町区分や地名にまつわる物語、そして天満のある川筋がたどった運命が関係している。

今回は明治時代の地図を見ながら、天満～北野～川崎の一带を歩きたい。「与力町」「同心町」など気になる地名も、残っている。どんな風景が見えるのか、古地図ウォーカーは歩く前からわくわくしている。

募集要項	<p>「古地図ウォーカー、大阪をゆく」第4回</p> <p>日時／2014年2月28日(金) 7:00PM～8:30PM(開場6:30PM～)</p> <p>会場／追手門学院 大阪城スクエア 受講料／2,500円(資料用大判古地図付き) 定員／120名 主催／ナカノシマ大学事務局 協力／関西・大阪21世紀協会</p>	<p>お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ、ファックスについては、複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。ハガキ、ファックスでお申し込みの方は、講座名を必ずお書き添え下さい。</p> <p>〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階 「ナカノシマ大学2月講座②」受付係 FAX.06-4799-1341</p> <p>※先着順で受付を確認し次第、順次、受講票をお送りします。 ※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。</p>
------	--	---

「利休にたずねよ」
現在全国公開中
©2013
「利休にたずねよ」
製作委員会



トウミン月報

2014年1月1日発行

京阪電車の駅で、大阪城で、 映画『利休にたずねよ』 関連イベントが続々！

現在公開中の話題の映画『利休にたずねよ』にちなんだイベントが、中之島買戻でも続々と開催されている。

まずは、映画の主人公である千利休（市川海老蔵）と、その運命を左右した豊臣秀吉



映画『利休にたずねよ』
全国の映画館で上映中。ストーリーや詳しい情報は
<http://www.rikyu-movie.jp/>にて。

（大森南朋）ゆかりのスポットを訪ねるリーフレット『堺・大阪・京都茶の湯さんぽ利休と秀吉ゆかりの地をたずねて』。京阪電車と南海電車が連携して発行するもので、両社の駅などでももらうことができる。大阪市内だけでなく、京都の



「堺・大阪・京都
茶の湯さんぽ
利休と秀吉ゆかりの地をたずねて」
スタンプラリー
応募方法 / リーフレットに付いている台紙に記載の6カ所の設置場所のうち、4カ所以上のスタンプを集めて事務局へ郵送にて応募。
締め切り / 1月24日（金）消印有効
スタンプ設置場所 / 天満橋駅、七条駅、祇園四条駅、堺駅観光案内所、堺東観光案内所、堺伝統産業会館

大徳寺、堺の南宗寺なども紹介されており、あちこちへ足を運んでみてください。

このリーフレットと連動したスタンプラリーも開催中。スタンプ台紙に記載されている6カ所の設置場所のうち4カ所のスタンプを集めると、ホテルベア宿泊券や映画鑑賞券、京都定期観光バスの乗車券などが抽選で当たります。こちらは1月24日（金）の消印有効のため、さっそく



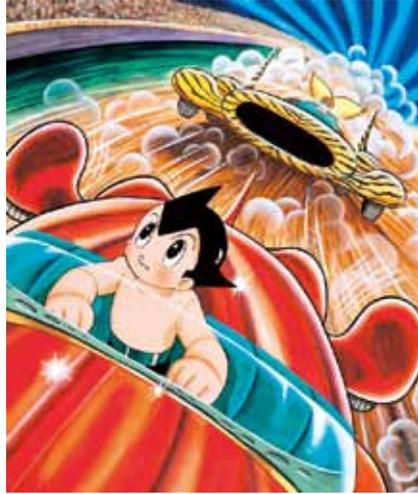
大阪城天守閣
映画『利休にたずねよ』特設展示コーナー
期間 / 2014年1月22日（水）まで
時間 / 9:00AM～5:00PM（入館受付は4:30PMまで）
会場 / 大阪城天守閣3階展示室および2階会議室
入場料 / 600円（天守閣入館料）
問い合わせ / 大阪城天守閣 ☎06-6941-3044
千利休画像 土佐光芳筆 大阪城天守閣蔵

出かけるのがおすすめ。

さらに、リーフレット内で紹介されている大阪城天守閣でも『利休にたずねよ』特設展示コーナーを設置。千利休の肖像画や自筆の書状など、貴重な史料が見られるほか、映画で使用された衣装や小道具も展示される。映画を観た人にとってはストーリーが蘇る、まだ見ていない人にとっては映画が観たくなる、楽しい企画揃いだ。（大迫力・本誌）



石ノ森章太郎(サイボーグ009) ©石ノ森プロ



手塚治虫(鉄腕アトム) ©手塚プロダクション

**手塚治虫と石ノ森章太郎
「マンガのちから」を体験しよう!**

「マンガの神様」と呼ばれた手塚治虫、「マンガの王様」と称される石ノ森章太郎。世界に誇る日本のマンガ史に大きな足跡をのこす二人の巨匠の作品が集う特別展「手塚治虫×

石ノ森章太郎 マンガのちから」が大阪歴史博物館にて1月15日(水)から開催される。「鉄腕アトム」「ブラック・ジャック」「ロボンの騎士」「サイボーグ009」「仮面ライダー」…などなど、作品名を挙げるだけで、二人の存在がどれほど大きいかうかがい知れる。マンガというジャンルの可能性を広げ、その人氣が不動のものとなって今に生きるのは、手塚と石ノ森両者の功績によるところが大きい。

戦後のストーリーマンガの誕生から、テレビアニメや特撮映画など、メディアアミックスによってマンガがどんどん発展していった様子、さらには国内外の現代アーティストの作品も登場する。手塚と石ノ森という日本のマンガにおける源流を探ると共に、その流れがどのように影響してきたかを振り返る画期的な展覧会だ。(大迫力・本誌)

大阪歴史博物館 特別展
「手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから」
期間/2014年1月15日(水)~3月10日(月)
時間/9:30AM~5:00PM(金曜日は8:00PMまで)
※入館受付は閉館30分前まで
休館日/火曜(ただし2月11日は開館、2月12日は休館)
会場/大阪歴史博物館 6階 特別展示室
入場料/大人1,200円(常設展との共通券1,680円)
問い合わせ/大阪歴史博物館 ☎06-6946-5728



ナカノシマ大

学での「古地図ウォーク」シリーズや『大阪古地図パラダイス』でもおなじみの作家・本渡章さんが、新たなシリーズ講座をスタートする。中之島フェスティバルタワーにある朝日カルチャーセンターにて、1月から3回にわたって開催される「大阪・京都・江戸〜三都古地図くらべ」だ。こちらはタイトル通り、大阪と京都、そして江戸という三大都市を描いた古地図を比べて見てみるという大ネタ。街が違えば描かれる内容も違

**本渡章さんの新シリーズ講座
大阪・京都・江戸の古地図くらべ**

うのは当然。それをあらためて見比べ、どこがどんな風に違うのか、あるいは共通点はないのかを探っていくという趣向だ。
1回目は「町絵図」を見比べる初級編、2回目は江戸の「切り絵図」など各都市の変わり種の古地図がテーマとなる。また、3回目は長崎や名古屋などさらに他の都市も加えることによって三都の個性を浮かび上がらせるなど、日本全国の古地図が登場する多彩な内容になっている。(大迫力・本誌)

朝日カルチャーセンター
本渡章講演会「大阪・京都・江戸〜三都古地図くらべ」
開催日/2014年1月10日(金)・2月14日(金)・3月14日(金) ※いずれも第2金曜
時間/7:00PM~8:30PM
テーマ/1月10日「地図出版の先進地だった京都を中心に三都の町絵図を見くらべ」
2月14日「江戸の切り絵図、大坂の湊図、京都の内裏図など地図表現の多様さを楽しむ」
3月14日「日本図の中の三都の姿。長崎や名古屋など他都市の古地図との個性くらべも」
受講料/全3回8,505円(カルチャー会員7,560円)
※当日空席があれば1回での受講可(会員2,730円、一般3,045円)
◎席に限りがあるため参加希望の場合は必ず電話で問い合わせを。

**月刊島民&ナカノシマ大学
生まれの本フェアを開催中**

月刊島民の連載やナカノシマ大学のシリーズ講座から生まれた本を集めたフェアが、ジュンク堂書店大阪本店で1月2日から開催されている。2010年の『おせっかい教育論』に始まり、『大阪の神さん伝』や『ブラック・ジャックは遅かった』、足かけ7年に突入した月刊島民のこれま

での歩みでもある。せっかくならばということでも、月刊島民のバックナンバーも無料で配布中。「いつもすくなくなくなってしまおう」との声も聞くだけに、また手に入っていない号を探してみても

(ただし、数と種類に限りあり)。もちろん、バックナンバーだけでなく、書籍の方もコンプリートするのが島民のたしなみであろう。(大迫力・本誌)



**月刊島民&ナカノシマ大学
生まれの本フェア**
会場/ジュンク堂書店 大阪本店 2階
期間/2014年1月2日(木)から約1ヶ月
※すべての号が揃うわけではありません。
※予定部数がなくなり次第終了します。
☎06-4799-1090

華やく街に誘われて⑨

フェスティバルプラザの「大阪らしさ」をめぐる

京

阪沿線で育った僕にとつて、花にはちよつとした思い出がある。祖母に連れて行ってもらった「ひらかたパーク」では、おなじみの大菊人形展を観て、花の香りと人形の迫力に圧倒された。幼い僕は早く遊園地に行きたかったが、祖母に手を引かれ我慢しながら見て回ったのを覚えている。

小学4年生の時の写生会では、中之島公園のバラ園で、ひたすら花卉を描いた。細かい性格が幸いして、その出来映えをたしかけっこう褒められたような気がする。菊人形と中之島バラ園—今もなお記憶に残る沿線の風景、そのどちらとも手がけてきたのが「京阪園芸」だ。

創業は昭和30年（1955）。京阪電車五条・天満橋間が開通した明治43年（1910）にはじまった秋の風物詩「ひらかた大菊人形展」に続き、春の定番行事をつくるうとひらかたパーク内に大バラ園が計画されたのがきっかけだ。「当時バラは一般家庭には普及していなかった文字通り高嶺の花。これをレジャー化し、日本ではじめてのバラ園を造園したのが創業のきっかけです」というのは巖野嘉明販売部長。造園監督には、当時伏見に暮らしていた、日本におけるバラ研究の第一人者・岡本勘治郎氏が招かれた。主催は



京阪沿線の風景彩る菊とバラの物語。

文／若狭健作(月刊島民プレス)



バラ」と呼ばれるモダンローズも、40を超えるオリジナル品種を生み出し、それらに高雄、鞍馬、愛宕、嵐山など京都ゆかりの名前をつけてきた。こう

して、菊人形で全国から花づくりの技術者が集まっていた枚方の地に、今度はバラのプロが集まるようになったのだ。

京阪園芸はこの技術を活かして、中之島公園や中之島公園というバラの名所づくりを支えてきた。

朝日新聞社と京阪電鉄。「東洋一のバラ園」は沿線の文化事業として華々しく誕生した。中之島と京都を結ぶ夢が、枚方で花開いたというわけだ。岡本氏がフランスやイギリスから持ち込んだオールドローズと言われる希少なバラの数々は、今も「ひらかたパーク・ローズガーデン」で大切に管理されている。「現代たのも沿線文化の縁を感じる。

わかさぎけんさく、1977年大阪市城東区生まれ。地域環境計画研究所代表。各地で住民が考える地域計画づくりに関わり、尼崎ではフリーマガジン『南部再生』や連河クルージングなどを企画。

祝祭へようこそ。



<http://festivalplaza.jp/>

提供／株式会社 朝日ビルディング



フローリスト京阪

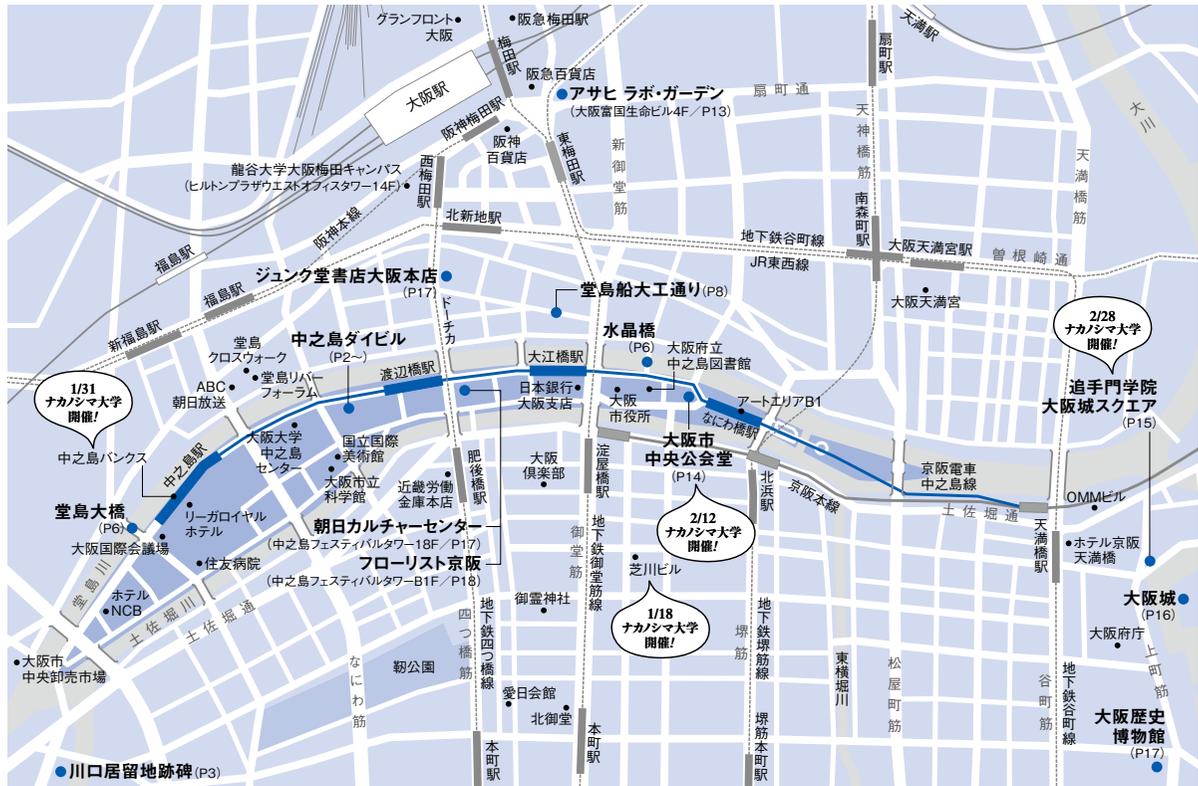
中之島フェスティバルプラザ店
●中之島フェスティバルタワー B1F

京阪園芸F&Gローズをはじめ、季節の花々が多種揃い、オリジナルのプリザーブドフラワーも人気。歓迎迎会の花束やフライダルなどのパーティー装花の相談にも親切丁寧に対応してくれる。上の写真はフローリスト京阪のチーフデザイナーでもある店長の福井涼子さん。

☎06-4708-3987 10:00AM~8:00PM 不定休

大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅/京阪シティモール/京阪モール/デリスタ天満橋店/ホテル京阪天満橋/ホテル京阪京橋
- 大阪市北区・中央区・福島区 [書店] 旭屋書店 梅田地下街店/カベラ書店/紀伊国屋書店 梅田本店/紀伊国屋書店 本町店/ジュンク堂書店 大阪本店/ジュンク堂書店 梅田ヒルトンプラザ店/ジュンク堂書店 天満橋店/MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店/スタンダードブックストア/天牛亭書店 大江橋店/ブックファースト 梅田店/ブックファースト 淀屋橋店/文教堂書店 淀屋橋店/隆祥館書店
- [公共施設・大学関連施設など] アイスボット/朝日カルチャーセンター 味の素 ライブラリー/ABC朝日放送 大阪企業家ミュージアム/大阪倶楽部/大阪工業技術専門学校/大阪国際会議場/大阪市中央公会堂/大阪市立中央図書館/大阪市役所市民情報プラザ/大阪城天守閣/大阪商工会議所/大阪大学中之島センター/大阪21世紀協会/大阪府立中之島図書館/大阪ボランティア協会/大阪歴史博物館/追手門学院 大阪城スクエア/川の駅はちけんや/関西学院大学 大阪梅田キャンパス/慶應大阪リバーサイドキャンパス/国立国際美術館/CITY NAIL'Sインターナショナルスクール/芝川ビル/市立住まい情報センター/中央電気倶楽部/ホテルNCB/メビック扇町/立命館大阪オフィス/龍谷大学大阪梅田キャンパス
- [店舗・医院など] アリアスカ マーブルトレ/アンドール 本町本店/上町貸自転車/Ultra 2nd/江戸前料理 志津可/天満橋鍼灸整骨院/MJB珈琲店/大西洋服店/OOO(オー)/カセタ/喫茶カウンター/喫茶SAWA/クラシメント中之島/黒門さかえ/コモンカフェ/サトウ花店 中之島本店/ザ・ロディ/シアルベストコーヒ-新聞電ビル店/じろう亭/Girond's JR/心齋橋山田兄弟歯科/住友病院/セブンイレブン大阪証券取引所店/タビエスタイル/たまがわ鍼灸整骨院/東郷歯科医院/NAKAGAWA1948 淀屋橋店/ナンジャーノ/バスターレ/花かつ/BAR THE TIME 天神/平岡珈琲店/ビルマニアカフェ/フレインハウス/ミニジロー/宮崎歯科/やきとりばかや/吉田理容所/ラクッカーニャ/LES LESTON
- 大阪市内その他 [書店] 伊勢屋書店/大阪書店/紀伊国屋書店 京橋店/なんばミヤタ/福島書店/柳太館/ループル書店 [公共施設・大学関連施設など] 大阪市社会福祉研修・情報センター/大阪市立図書館/川口基督教会 [店舗・医院など] あじさい/アートアンドクラフト/欧風食堂 ミリパール/大阪市信用金庫 江戸堀支店/御舟かめ/Calo Bookshop and cafe/写真とプリント社/鳥かごキッチン/ネイルサロン スワンナ/バルビコ/ホテル64オオサカ/MANGUEIRA/Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店/学運堂 フレスト店/Books 呼文堂/水嶋書房 くずはモール店/大阪狭山市立図書館/大阪大学企画広報社/学運携務専務室/大阪大学 21世紀徳徳堂/大阪大学本部/寝屋川市役所/摂南大学 地域連携センター/郵政考古学会/ゆったりんこ
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店/水嶋書房 丹波橋店/伊丹市文化振興財団/川のほとりの美術館/納屋工房/タバーン・シンボン/百練/奈良県立図書館情報館

◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告 島民の『浪花百景』研究。

幕末の大坂でベストセラーとなった、錦絵による名所案内の『浪花百景』。これまでにもよく取り上げてきたが、その魅力を改めてご紹介。

●『月刊島民』vol.67は2014年2月1日発行です！

編集・発行人/江弘毅(編集集団140B)
編集・発行/月刊島民プレス
若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)
松本 創 江口由夏 大迫力(編集集団140B)
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341
制作進行/堀西 賢(ALEGRESOL)
デザイン/山崎慎太郎
表紙イラスト/奈路道程
印刷/佐川印刷株式会社

京都に恋する私です。



東山 八坂の塔(京阪電車 祇園四条駅下車)
 中之島けい子

京阪のる人、おけいはん。

大阪、京都、びわ湖を結ぶ京阪電車



京阪電車お客さまセンター ☎06-6945-4560
 [平日]9時~19時 [土・日曜、祝休日]9時~17時 ※12月30日~翌年1月3日は休業

京阪のる人、
 おけいはん。

www.okeihan.net